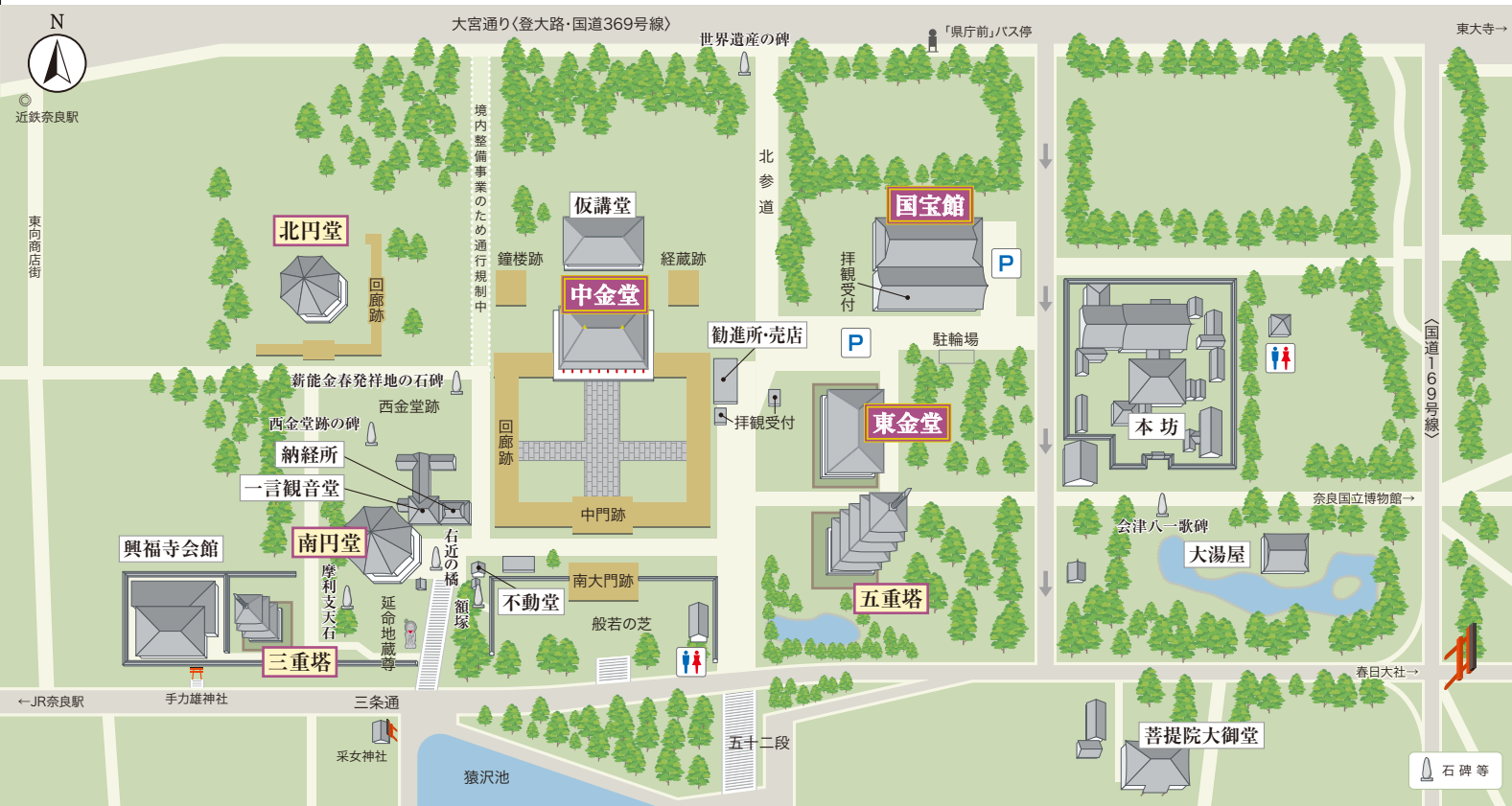


法相宗大本山 興福寺

奈良市登大路町48番地／本坊寺務所 TEL.0742-22-7755

世界遺産



興福寺の歴史

興福寺は、天智8年(669)に中臣(藤原)鎌足が重い病気に患った際、夫人である鏡女王(かがみのおおきみ)が夫の回復を祈願し、釈迦三尊を安置するために造営した山階寺(やましなでら)(山背(やましろ)国)を起源とします。壬申(じんしん)の乱(672)の後に飛鳥に移建され、地名をとって厩坂寺(うまやさかであら)となり、さらに平城遷都の際、和銅3年(710)藤原不比等によって移されるとともに、「興福寺」と改号されました。天皇や皇后、また藤原氏の手によって次々に堂塔が建てられ、奈良時代には四大寺、平安時代には七大寺の一つに数えられました。特に摂関家(藤原北家)との関係が深かったために手厚く保護され、寺勢はますますさかんにになります。平安時代には春日社の実権を手中におさめ、大和国を領するほどになり、また、鎌倉幕府・室町幕府は大和国に守護を置かず、興福寺がその任に当たりました。文禄4年(1595)の検地で春日社興福寺合体の知行として2万1千余石と定められ、徳川政権下においてもその面目は保たれました。明治時代はじめの神仏判然令(しんぶつはんぜんれい)、廃仏毀釈(はいぶつきやく)、寺社領上知令(あげちれい)などにより興福寺は荒れましたが、その後は寺僧・有縁の人々の努力で復興が進展し、新たな興福寺としてその歴史を刻み続けています。

中金堂



ご本尊の木造釈迦如来坐像をはじめ国宝木造四天王立像などが安置されているほか、法相宗の祖師が描かれた法相柱があります。

9:00~17:00(受付終了16:45)
大人 500円
TEL.0742-22-7781

東金堂



ご本尊の銅造薬師如来坐像をはじめ国宝の木造四天王立像や木造維摩居士坐像、文殊菩薩坐像などが安置されています。

9:00~17:00(受付終了16:45)
大人 300円
TEL.0742-22-7781

国宝館



国宝八部衆立像の阿修羅像をはじめ興福寺の歴史を伝える仏像や典籍、古文書、絵画、工芸などを収蔵、展示しています。

9:00~17:00(受付終了16:45)
大人 700円
TEL.0742-22-5370

○北円堂 春季・秋季に特別開扉

○南円堂 毎年10月17日(大般若経転読会)のみ開扉
南円堂納経所 TEL.0742-24-4920

○駐車場 9:00~17:00

バス3,000円/3時間 乗用車1,000円/1回
TEL.0742-22-4096

【禁止事項】 境内での飲酒、喫煙(電子タバコなどの新型タバコを含む)を禁じます。境内において、ドローンの飛行および撮影を禁じます。